

WANTED

和名：ブラウントラウト
学名： *Salmo trutta*

全長 50~60cm 以上に成長
普通、体色はもっと茶色みが強い



上下の顎が伸びたオス成魚

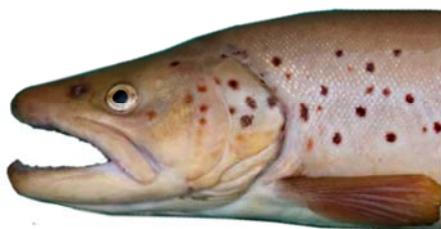
うすい空色に縁どられた黒褐色、赤褐色の斑点が特徴的

「産業管理外来種」ブラウントラウトを探しています

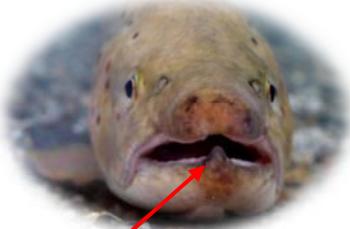
ヨーロッパ、西アジア原産のサケ科魚類。我が国には、明治期以降に北アメリカ経由で持ち込まれた。ルアー釣りの対象魚として全国130ヶ所以上の管理釣り場で利用され、4府県（栃木県、神奈川県、山梨県、大阪府）で漁業権が設定されている。自然水域では北海道のほか、栃木県中禅寺湖、秋田県の雄物川、および長野県の犀川（さいがわ）、千曲川（信濃川水系）などに定着しており、新潟県への流下分散は時間の問題であった。2011年に十日町市内の本流支流で相次いで確認され、現在では中魚沼地方の小さな支川にもさかのぼっている。長野県では、信州サーモン（オス化したメスと、四倍体ニジマスのメスを交雑した三倍体）の作出に利用されている。

◆「特定外来生物」に匹敵する侵略的な外来魚

魚類や水生昆虫などの水生動物、水面に落下した様々な小動物などを捕食する。同じ外来サケ科魚類のニジマスと違って天然水域でもよく繁殖し、海に下って別な河川に遡上（そじょう）するなど移動、分散能力が高い。攻撃性が強く、イワナやヤマメなどの在来サケ科魚類と競合して置き換わってしまうなど、在来生態系に大きな被害を及ぼすことが知られている。「世界の侵略的外来生物ワースト100」、生態系被害防止外来種リストの「産業管理外来種」に指定されているが、外来生物法の「特定外来生物」には指定されていない。



せいじゅく
成熟したオスの頭部



したあご
下顎の先が上方に尖る



だえんけい
幼魚は体側に楕円形のパーマークが並び
(サケ科魚類の特徴)、赤褐色の斑点がある

情報をお持ちの方はご連絡ください

生物多様性保全ネットワーク新潟 事務局

メール: naturewk@basil.ocn.ne.jp

電話・FAX: 025-270-2010 (井上)

2020.11.25